

令和6年度 ECO-TOPプログラム 認定検討会（第1回）会議録

令和6年8月7日（水）
WEBによるオンライン開催

午後 13時 30分開会

○事務局（青山） 定刻をやや過ぎてしまいましたけれども、これから、令和6年度第1回「ECO-TOPプログラム認定検討会」を始めさせていただきます。

本日は皆様におかれましては、お忙しい中、御出席を賜りまして誠にありがとうございます。

私、昨年度に引き続きになりますけれども、本検討会の事務局を務めます、環境局自然環境部計画担当課長の青山でございます。どうぞよろしくお願いいたします。

初めに、注意事項をお伝えいたします。まず、議事録作成のために会議のほうは録音させていただきます。次に、都庁の通信環境によりましては映像・音声途切れる場合もございます。あらかじめ御了承いただければと思います。

続きまして、会議中のお願いでございますけれども、会議中は常にミュートの状態にさせていただきます。御発言がある場合はZoomの「手を挙げる」機能を使用いただくか、画面に向かって挙手いただくなどによって発言の意思を表明いただきますようよろしくお願いいたします。万が一、挙手をしているのに指名がないまま議事が進んでしまうような場合は、大変恐縮でございますが、ミュートを解除して御発言いただけますと幸いです。

また、カメラのほうですけれども、御発言されるとき以外は常にオフにさせていただけるようお願い申し上げます。

何か会議中に不具合がございましたら、Zoomのチャット機能で御連絡をいただくか、あとは事前に電話番号をお知らせしてございますので、そちらにお電話を頂戴いただけると幸いです。

これから会議を進めさせていただきますけれども、まず傍聴人につきましては、本日は傍聴の申出がございませんでした。一旦傍聴について御報告をさせていただきました。

本日、今年度初めての検討会となりますので、まず委員の皆様の御紹介をいたします。委員の皆様につきましては、これからお名前をお呼びしますので、一旦ミュートを解除いただきます一言いただければと思います。

初めに、黒沼会長でございます。

○黒沼会長 黒沼です。よろしくお願いいたします。

○事務局（青山） どうぞよろしくお願いいたします。

大下委員でございます。

○大下委員 東京商工会議所の大下でございます。よろしくお願いいたします。

○事務局（青山） よろしくお願いいたします。

辻阪委員でございます。

○辻阪委員 日本環境アセスメント協会の辻阪でございます。よろしくお願いいたします。

○事務局（青山） よろしくお願いいたします。

村田委員でございます。

○村田委員 NP0法人みどり環境ネットワークの村田です。よろしくお願いいたします。

○事務局（青山） よろしくお願ひいたします。

最後に、渡邊委員でございます。

○渡邊委員 東京都立大学の渡邊でございます。よろしくお願いいたします。

○事務局（青山） よろしくお願ひいたします。

続きまして、東京都側の出席者を御紹介いたします。自然環境部計画課課長代理の岡野でございます。

○事務局（岡野） 岡野でございます。昨年度に引き続き担当させていただきます。今日はどうぞよろしくお願いいたします。

○事務局（青山） 同じく計画課の小林でございます。

○事務局（小林） 小林でございます。今年度から担当させていただきます。よろしくお願いいたします。

○事務局（青山） それでは、まず事前に資料を配付させていただいておりますけれども、その確認をさせていただきたいと思います。お配りしている会議次第を御覧ください。こちらに配付資料一覧がございます。まず、資料1「認定要綱・認定審査基準改定案について」、資料2-1「ECO-TOPプログラム認定要綱 新旧対照表」、資料2-2「ECO-TOPプログラム認定審査基準 新旧対照表」。参考資料といたしまして1から4がございまして、参考資料1が認定検討会委員名簿、参考資料2が認定要綱、参考資料3が認定審査基準になります。最後の参考資料4が認定検討会設置要綱となっております。皆さん、ございますでしょうか。後ほど画面のほうでも共有はさせていただきます。

今、会議次第を御覧いただいているかと思いますが、本日の議題でございます。

（1）としまして「ECO-TOPプログラム認定要綱及び認定審査基準の改正について」、（2）といたしまして「その他」でございます。

それでは、ここからは黒沼会長に議事をお願いしたいと思います。会長、よろしくお願いいたします。

○黒沼会長 それでは、議事に入らせていただきます。

議題（1）となります。「ECO-TOPプログラム認定要綱及び認定審査基準の改正について」、事務局から御説明をお願いいたします。

○事務局（小林） それでは、御説明させていただきます。

まず、ECO-TOPプログラム認定要綱及び認定審査基準の見直しの背景につきまして御説明させていただきます。以前より、更新申請に係る事務手続において、大学から様式作成が負担である旨の意見がございました。変更の提出様式においては内容の重複だったり、既存資料にて代替可能な様式が見られたことから、これらを見直すことにより様式作成の簡略化を図ることで大学側の負担を軽減させることを目的としています。

続きまして、事務局が提案させていただく改正案概要について御説明させていただきます。まず、様式3-2号「教員プロフィール」につきまして、こちらは令和4年度検討会

にて一度お諮りさせていただいた内容ではございますが、その後、認定大学よりほか様式の簡略化を求める御要望もございましたので、引き続き検討を進め、今回、まとめて御意見を頂戴したいと存じています。３－２「教員プロフィール」の変更内容としましては、全教員プロフィールを手入力で様式に記載する方法を見直し、大学のウェブサイトやリサーチマップなどの研究者サイトのリンクを様式に記載する方法を加えます。後ほど御説明させていただき認定審査基準の内容を手持ちの資料で満たしていない場合に、現行様式を参考様式として提出していただきます。

続きまして、様式５号「各科目のシラバス」につきまして、こちらも教員プロフィールと同様、全シラバスの内容を手入力で様式に記載する方法を見直し、各大学作成のシラバス集の電子データや様式に各科目の大学ウェブサイトのリンクを記載する方法を追加させていただきます。教員プロフィール同様、認定審査基準の内容を手持ちの資料で満たしていない場合は現行様式を参考様式とし、提出していただきます。

続きまして、６－１号「インターンシップの概要」につきましては、様式の記載の内容が様式５号「各科目のシラバス」と内容が重複するため、廃止とします。

続きまして、様式９号「責任者・教員体制」につきまして、教員体制につきましては様式３－１号「教育課程・教員組織」で確認できるため様式自体を廃止し、責任者につきましては３－１号に責任者欄を追加する形で提出していただきます。

続きまして、認定審査基準の改正案につきまして、「教員プロフィール」の内容について項目を精査しております。現行の様式では、教員の略歴及び職名、専攻、担当事業科目、週当たり担当時間数等を記した書類を提出していただくことになっていますが、こちらの改正案として氏名、所属、学位、研究分野、学歴等が確認できる書類を提出していただきます。

続きまして、認定要項の様式の詳細について説明させていただきます。まず様式３－２号「教員プロフィール」につきまして、現行の様式は履歴書仕様になっており、入力箇所が多く、加えて個人情報、性別、生年月日などの情報も多く含まれているため、改正案としまして大学のウェブサイトやリサーチマップ等の研究者サイトのリンクを様式に記載する方法を加えました。

続きまして、様式５号のシラバスにつきましても、現行の様式は教員プロフィールと同様、入力箇所が多くなっております。改正案としまして、既存の各大学作成のシラバス集を電子データで提出していただくか、または様式に各科目の大学ウェブサイトのリンクを掲載する方法を提案いたします。こちらの様式３－２号「教員プロフィール」と５号「各科目のシラバス」を改正することによって、大学側の事務手続の負担を大きく削減できると考えております。

続きまして、６－１号につきましては、様式５各「各科目のシラバス」と内容が同様となっているため、様式自体を廃止します。

続きまして、６－２号につきましては、内容については変わりがないのですが、本文の

中で様式6－2号となっているところを、6－1号を廃止するため様式の番号が6号に変更になります。

続きまして、様式9号につきまして、現行の内容は責任者と教員体制を記載する様式となっておりますが、教員体制を3－1号の様式で把握できるため削除し、改正案として責任者欄を3－1号の様式に追加する形となっています。

続きまして、3－2号「教員プロフィール」の現行様式を、手持ちのデータがない場合に備えまして参考様式1号としております。シラバスについても教員プロフィールと同様で、手持ちのデータがない場合に提出いただく方法として参考様式2号として現行様式を変更しています。

続きまして、本文の変更箇所につきまして、先ほど御説明させていただいた様式についての記載を変更しています。まず、3－2号「教員プロフィール」では参考様式の様式欄を追加しています。

続きまして、様式5号「各科目のシラバス」について、大学手持ちのシラバス集の電子データの提出か現行の様式、参考様式の2号として提出していただく旨を追加しています。

続きまして、様式6号につきましては、様式の番号のみ変更になっています。

続きまして、様式9号についての記載を削除しています。

変更点としては以上です。

続きまして、認定審査基準の改正箇所について御説明させていただきます。先ほど説明もさせていただきましたが、教員のプロフィールについて、現行では略歴及び職名、専攻、担当事業科目、週当たり担当時間数を記した書類を用いて審査していましたが、改正案として氏名、所属、学位、研究分野、学歴等が確認できれば各教員の専門分野が担当事業に適当であると判断できると事務局が判断しましたので、こちらの内容に改正しております。

事務局からの説明は以上です。

○黒沼会長 御説明ありがとうございます。

全体として大学が申請する際に行う書類等を更新等も含めて簡略化し、改正案としてこれからのものを御提示いただいたということになります。本件に関して何か皆様から改正内容についての御意見はございますでしょうか。

村田様、何かございますでしょうか。よろしくお願いします。

○村田委員 すごく大学に寄り添ったものになっていいのではないかなと思うのですが、書式が少しずつ学校ごとに違うというのは、比較検討など、事務局的な作業については特に問題なくできそうなのではないでしょうか。これだけでした。

○黒沼会長 いかがでしょうか。

○事務局（青山） 村田委員、ありがとうございます。

私どももいろいろな大学の教員プロフィールを調べてみて、リサーチマップをそのまま使っている大学も結構ございましたので、そこは事務局としては問題なく手続を進められると考えてございます。

○村田委員 ありがとうございます。

委員への共有資料なども例えばリンクを貼っていただくとか、昔は紙媒体で頂いていたりもしたと思うのですけれども、簡略化していただいて大丈夫なので、引き続きよろしくお願いいたします。

○事務局（青山） ありがとうございます。

○黒沼会長 ありがとうございます。

何かほかにございますでしょうか。

今、村田委員からございましたように、委員との情報共有というのはやはり大切だと思いますので、その点もよろしくお願いできればと思います。

よろしいでしょうか。そのほかは何かございますか。

それでは、事務局、これでいかがでしょうか。よろしいでしょうか。

○事務局（青山） ありがとうございます。

私どもの御提案させていただいた内容につきましては問題ないと認識いたしましたので、今後、要綱改正の手続を進めさせていただきます。どうもありがとうございました。

○黒沼会長 お手数をおかけしますが、どうぞよろしくお願いいたします。

それでは、次に議題（２）として「その他」ですけれども、事務局から何かございますでしょうか。

○事務局（小林） 小林から御説明させていただきます。

今年度のECO-TOPプログラムの予定について簡単に御説明させていただきます。今後の予定につきまして、８月最終週に都庁インターンシップを予定しております。また、11月30日土曜日に合同報告会の実施を予定しております。また、認定大学より更新申請や変更申請等があった場合、検討会の開催を12月下旬及び3月中旬頃に予定しております。

事務局からの報告は以上です。

○黒沼会長 ありがとうございます。

本件御報告に関して何か御質問のある方はいらっしゃるでしょうか。

私から1つ質問なのですけれども、確認です。3つ目にお話のあった検討委員会が12月及び3月にありますよということだったのですけれども、これは両方とも開催する予定であると考えておいてよろしいかということを確認のためにお聞きしておきます。いかがでしょうか。

○事務局（小林） 回答させていただきます。

12月下旬に想定しておりますのは、更新申請の内容につきまして検討会を開催させていただき予定でして、3月中旬頃に開催の内容につきましては、変更申請があった場合につきまして開催を想定しています。

以上です。

○黒沼会長 ありがとうございます。

両方ともそういった動きがある可能性があるよということで予定しておくということで

よろしくお願ひしたいと思ひます。ありがとうございます。

御報告はこれで終了なのですけれども、そのほかに何か御報告に関して御質問のある方はいらっしゃるでしょうか。

辻阪委員、お願いいたします。

○辻阪委員 今、要項の大学側の負担軽減などをこれからされるということと、それから東京都さんも地域戦略やアクションプランなどをいろいろ生物多様性に絡めて積極的に取り組まれている中で、このECO-TOPの大学さんへのPRや参加しませんかというアピールだったり、あるいは卒業生の方の活用などの制度の拡充というか、活用というのを考えたらどうでしょうみたいな話題が前回出ていたと思うのですけれども、その辺りで何か新しい大学さんへの働きかけ、あるいは新たな活用方法などの御検討の状況があれば、聞かせていただければと思ひます。

○黒沼会長 事務局、いかがでしょうか。

○事務局（青山） 青山でございます。辻阪委員、ありがとうございます。

ECO-TOPにつきましては、残念ながら昨年度は新しい大学への営業というところまではなかなか至らないところがございます。ただ、履修生の増加につなげるために、都立学校への御案内というものはこれまでどおりやっていたところがございます。おっしゃるとおり地域戦略を改定しまして、その中でも人材育成ということをやっていきますということの一つとしてこのECO-TOPプログラムも位置づけはされているところでございます。

ただ一方で、大学側もいろいろな社会経済情勢の中でいろいろと教育の進め方自体も変化しているという実態がございますので、そういった大学様の実態やこのECO-TOPプログラムを進めていく上での実態を少し我々のほうで直接大学さんと意見交換をしながら、制度をどういう形で拡充していくのかというのは引き続き検討させていただきたいと考えてございます。

卒業生の活用につきましても、私どものほうで履修生に対するインセンティブということでボランティアの指導者育成の講習の費用を減免するというのを2～3年前から始めているところでございます。可能であればですけれども、履修生に対しても少しアンケートみたいな形で御意見を聞く機会を設けたいなということで、それも今後の制度の拡充等に活用したいなと思っているところでございます。

あまり前向きなお話ができず恐縮なのですが、今のところ、事務局ではそういうことを考えているところでございます。

○辻阪委員 ありがとうございます。

○黒沼会長 どうもありがとうございます。御報告に対するものではなかったのですが、ECO-TOPプログラム全体についての御意見ということで拝聴させていただきました。

そのほかにも、この機会ですので、何かECO-TOPプログラム全体についての御意見を頂戴できればと思ひますが、皆様、いかがでしょうか。

村田委員、お願いいたします。

○村田委員 今年度は各大学さんで何名ぐらいECO-TOPプログラムを履修される方がいらっしゃるそうかというのはどのくらいの時期になったら分かるのでしょうか。まだ各大学さんから来ていないですかね。どれくらい今年はいらっしゃるのだろうかというのが興味としてあるのですけれども。

○事務局（岡野） 今、この場で正確にお答えできないので、お調べして、後ほど皆様にお知らせさせていただければと思います。申し訳ありません。

○村田委員 いえ、毎年の推移というのが気になっているところではあったので、よろしくをお願いします。

○事務局（岡野） 承知しました。ありがとうございます。

○黒沼会長 どうもありがとうございます。

先ほどの広報の関係のことなのですけれども、最近のECO-TOPの広報のプログラムを紹介したパンフレットやホームページの更新などといったものは、例えば印刷物は最近はないはずなののですけれども、たしか3年ぐらい前のものは私も持っているのですが、最近のものというのは今あるのでしょうか。それともそれは全てホームページ上で賄っていると考えるとよろしいでしょうか。1つ追加で質問させていただきました。

○事務局（岡野） 岡野からお答えさせていただきます。

パンフレットは引き続き印刷もさせていただいております。今、お話があったように紙媒体で周知するという方向ではなくてデータでというところになってきていますので、ちょっと印刷枚数は減らしているのですけれども、データでの配布先というのは引き続き都立の高校などには配布をしているところです。

あと、ホームページにつきましては、最近、更新の頻度がなかなか少なくなっているところではありますが、年度初めに改めて掲載の内容が古くなっているものなどは更新させていただいたところでございます。

以上です。

○黒沼会長 ありがとうございます。

可能でしたら、例えばパンフレット、あるいはパンフレットのデジタル媒体のものを委員にも送っておいていただけると割と参考になるのではないかなと思いますので、よろしくをお願いします。

○事務局（岡野） 至らない点が多く、申し訳ございません。印刷物ができましたら、委員の皆様にも共有させていただきますので、引き続きどうぞよろしくお願いいたします。

○黒沼会長 こちらこそよろしくお願いいたします。

そのほかに全般的なことで何か御質問のある方はいらっしゃるでしょうか。よろしいでしょうか。

それでは、よろしければ、ここで事務局に進行をお戻ししたいと思います。暑い日が続きますけれども、皆様、くれぐれも御自愛ください。事務局のほうもよろしくお願いいたします。

します。

○事務局（青山） 黒沼座長、議事の進行をありがとうございました。また、本日は委員の皆様におかれましては、お忙しい中、御出席を賜りまして改めて御礼申し上げます。

先ほども少し申し上げましたが、このECO-TOPプログラムがよりよい制度になりますよう、今後とも尽力してまいりますので、委員の皆様につきましても引き続き御協力を賜りますよう、どうぞよろしくお願いいたします。もしかしたら個別に御意見を頂戴する機会を設けるかもしれませんので、ぜひともよろしくお願いいたします。

そうしましたら、以上をもちまして、令和6年度第1回「ECO-TOPプログラム認定検討会」を閉会いたします。本日は御出席、誠にありがとうございました。

午後 14時 00分閉会